



西本社長

マークテック、経営方針発表会

西本社長「世界ブランドつくる」

マークテック（西本圭一社長）は2月22日、マテの「2019年度経営方針発表会」を千葉県成田市のホテルウェルコで開催した。同発表会には、マークテックおよび同社インドネシア駐在員事務

所、国内外の子会社（マークテック上海探傷設備、同コリア、同アジア、本田工業）、同社の親会社であるアルコンニクスから今川敏哉執行役員が出席、総勢138人が参加した。

発表会に先立ち、西本社長は新中期経営ビジョンとして「品質保証を科学するモノづくり集団として、日本、そしてアジアから世界に通用するブランドをつくる」ことを打ち出した。具体的には、①マーケティング・企画機能の強化②グローバル戦略パートナーとの関係強化③技術承継事業の構築④グループ一体化およびグローバル化推進を掲げた。また、経済成長著しいインド市場に対し、探傷剤・探傷装置を主力として販促活動を展開していくことに言及した。

その後、マークテックの営業、経営管理、海外営業、機械・製造、研究開発・品質保証の各部門による戦略コンテストが行われた。事前に各部門の若手社員が討議、活動テーマを策定。営業活動の質の向上や業務効率化、生産業務の見直し、経費削減などをテーマとして年間を通じ活動、1年後にその成果を報告する。

グループ会社経営方針発表では、アルコンニクスの今川執行役員からの挨拶から始まり、それぞれの海外グループ会社から現況などの報告が行われた。

産報出版株式会社発行『検査機器ニュース』

2019年3月20日（第1398号）掲載